

2024年5月15日

報道機関 各位

長崎大学の学生・教員が地域の健康増進に貢献 長崎市主催「元気がいちばんたい！健康まつり」に出展

長崎大学医学部保健学科、薬学部、医歯薬学総合研究科は、長崎市が主催する「元気がいちばんたい！健康まつり」に出展します。このイベントでは毎年、長崎市民が自身の生活習慣を見直すきっかけとなるよう、さまざまな健康チェックや健康に関する簡単なクイズ・健康相談が行われています。

長崎大学の出展ブースは、昨年参加者から大変好評を得ており、今年は混雑を避けるため事前予約制とし、既に定員に達しました。出展ブースでは、かかとで骨密度測定、心臓健康簡易チェック、肺年齢測定（別紙参照）を学生、教員が実施し、参加者の健康状態、そして日頃の疑問や悩みに対してアドバイスをを行います。

■ 昨年の様子



検査について説明する大学院生



参加者に超音波検査を行う保健学科の学生

イベント名称：「元気がいちばんたい！健康まつり」

日時：令和6年5月19日(日) 10時～14時

場所：長崎市民会館 地下1階（長崎市魚の町5番1号）

費用：無料

主催：長崎市

長崎市のHP（元気がいちばんたい！健康まつり）

<https://www.city.nagasaki.lg.jp/fukushi/450000/451000/p028389.html>

→



昨年の長崎大学出展ブースの様子

<https://www.nagasaki-u.ac.jp/ja/news/news3953.html>

→



【本リリースに関するお問い合わせ先】

■長崎大学の参加についての問い合わせ

長崎大学広報戦略本部 TEL：095-819-2007 MAIL：kouhou@ml.nagasaki-u.ac.jp

長崎大学の各ブースと担当教員からコメント

■長崎大学医学部保健学科 「かかとで骨密度測定」 定員 100 人

担当教員：医学部保健学科 中尾 理恵子 教授

骨は 20 代をピークに密度が減少しはじめます。加齢に伴って骨密度が低下すると、骨粗しょう症という骨の中がスカスカな状態になり、骨質が低下することで、骨折しやすくなりますので、骨密度を定期的に測定することが大切です。かかとの骨に超音波をあてて骨密度を測定する簡単な検査です。

■長崎大学薬学部 「心臓健康簡易チェック」 定員 100 人

担当教員：薬学部 都田 真奈 教授

心房細動（心房という心臓の上の部屋が細かく震え、血液をうまく全身に送り出せなくなる病気）は、寝たきり原因第 1 位の脳卒中を引き起こす可能性が高い心臓病です。心房細動を早期に発見し、早期に治療を開始すれば、脳卒中を未然に防ぐことができます。この機会に、心臓の健康をチェックしてみませんか？薬学部の学生が簡易型心電計を用いて心房細動を測定します。わずか 30 秒の指先で測る簡単な測定です。

■長崎大学医歯薬学総合研究科 理学療法学分野 「肺年齢測定」 定員 56 人

担当教員：長崎大学医歯薬学総合研究科 神津 玲 教授

1 秒間に吐ける息の量は、性別、年齢、身長によって、それぞれ異なります。肺の機能は健康な人でも加齢とともに少しずつ低下します。1 秒間に吐くことができる息の量を調べて、同性・同年代の標準の方と比べ、自分の呼吸機能がどの程度であるかを確認してみましょう。